

## 令和5年度 第1回経営審議会議事録

**日時** 令和5年6月20日(火) 10:00～11:15  
**場所** 本部棟2階 小会議室1  
**出席者** 沖議長、中村委員、佐藤委員、晝田委員、中島委員、梶谷委員、則武委員  
(出席7/7名)  
(監事) 井上監事、大土監事(出席2/2名)  
(事務局) 井上次長、大坪課長、阿部経理班長、蜂谷主幹、鈴木主任  
吉賀総務班長

### 1 開会

### 2 委員の紹介等

議長から新任委員が紹介された。

### 3 議事録の確認

令和4年度第4回(令和5年3月24日開催)の議事録案は承認された。

### 4 議題

#### [1] 審議事項

#### (1) 公立大学法人岡山県立大学理事長選考会議委員及び補欠候補者の選出について

- ・事務局から資料1により説明があり、協議の結果、経営審議会から選出する理事長選考会議委員は、中村委員、晝田委員、中島委員の3名とし、補欠候補者については、学内から佐藤委員、学外から梶谷委員を第1候補、則武委員を第2候補として決定した。

#### (2) 第3期中期計画目標期間終了時に見込まれる業務の実績について

#### (3) 第3期中期計画・令和4年度に係る業務の実績について

- ・事務局から別添資料1～3により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

#### 【質疑応答等】

- (問) 県内企業との連携が県内就職率向上につながると考えるが、県内就職率及び外部資金獲得の目標達成に向けて、今後どのように進めるのか。
- (答) 大学院を核とした研究力の向上が重要と認識しており、これらが科研費や共同研究費獲得などにつながっていく。吉備の杜の取組についても、教育力の向上につながっており、今後は履修率の向上など、自走化までの間にしっかりと積み上げてまいりたい。
- (問) 県内就職率については、協力会も積極的に活動しているが、企業と学生がより一層連携を図ることが重要だ。
- (答) 県内就職率について、令和4年度は前年度より下がったが、それでも全国平均より高い傾向にある。
- (問) デザイン学研究科の学生数が少ない要因はなにか。
- (答) 資質のある学生は多いが、大学院進学のためにはどのような学生を確保するか、学部で検討を進めてもらう。定員充足率の向上を目指して、大学院改組を予定するとともに、様々な取組を進める。

(問) デザイン一つで価値が変わる時代であり、異分野とコラボして付加価値を高めるなど、科研費及び共同研究費の獲得に取り組んでいただきたい。

(答) 吉備の杜の精力的な活動により、デザインの学生も未来型プロジェクトの「食」や「ICT」に取り組んでいる。アートだけでなく、どんな分野でも通用する学生を育てていく。

(問) 適切に自己評価をするためには、学長がリーダーシップを取って信頼関係を築くことが大事だと思う。

(答) お話のとおり、互いの信頼関係で組織は成り立つものと認識している。

#### **(4) 令和4年度決算(案)について**

- ・事務局から資料2、別添1及び2により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

##### **【質疑応答等】**

(問) 未収入金が増加した理由はなにか。

(答) 例年、年度末時点で収入されず4月に収入される補助金が未収入金となるが、令和4年度は、施設整備費補助金等が該当し、令和3年度より補助額が増額となっていることが要因である。

(問) 未払金が増加した理由はなにか。

(答) 3月分の人件費や退職手当、3月末までを契約期間とする契約の支払いが4月になるものが未払金となるが、令和4年度は令和3年度と比べて、該当する委託業務等が減ったため減少した。具体的には、学内ネットワークシステムの保守業務委託を令和4年度から直営で行うように変更したこと、全学情報システム(学務系)におけるシステム改修業務が令和3年度で終了したことが挙げられる。

(問) 目的積立金の取崩は生じていないが、今後、活用する予定はあるか。

(答) 運営費交付金交付額の状況等を考慮しながら、適切に判断してまいりたい。

#### **(5) 岡山県立大学教員の任期に関する規程の一部改正について**

- ・事務局から資料3により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

##### **【質疑応答等】**

(問) 無期転換有資格者から申し出があり、理事長が受理し、本人に通知した場合は、必ず無期へ転換するのか。

(答) お話のとおり、無期へ転換することとなる。

(問) 本人が無期転換を希望しない場合は、有期労働契約として勤務を継続することは可能か。

(答) お見込みのとおりである。

(問) 対象者はどの程度か。

(答) 現時点で1名である。

次回の開催は、令和5年9月22日(金)とされた。